

若き日に
汝の思想を培え
若き日に
汝の体躯を養え
若き日に
汝の智能を磨け
若き日に
汝の希望を星につなげ
松前重義書

東海大学付属甲府高等学校

〒400-0063
山梨県甲府市金竹1-1
TEL055-227-1111 Fax055-227-1112

生徒が主役 ~あなたの生きる力を育てます~

芸術鑑賞会

今年の芸術鑑賞会は落語でした。落語の楽しみ方や上方落語と江戸落語の違いを学びながら、生徒も参加してとても楽しい鑑賞会となりました。落語では生徒たちの大きな笑い声が、また紙切り芸ではその見事な技に驚きの声が湧き上がっていました。落語とは、演じる側と聞く側がともに作り上げるものであり、両者にその意識がなければ良いものはないという話には納得できるものがありました。良好な人間関係を築くためには、互いに共感することが本当に大切なことだと実感します。そのために必要な経験を、落語という、笑いを中心にした楽しいひと時を共有することで身に付ける機会が与えられたことは、生徒たちにとっても貴重な体験だったのではないのでしょうか。当日は生徒だけではなく、多くの保護者の方々も参加してくださいました。おそらく家庭での団欒のひとつの、良い話題となったのではないのでしょうか



落語とはいえ、斬新な話題で生徒の笑いを誘います。



3年中村優君、留学生のマッテオ君も加わって、場を盛り上げます。



あっという間に、宮下先生の横顔が完成しました。似てます！



最後に生徒会長の田中君から、感謝の花束が贈られました。

生徒総会

6月7日に、生徒総会が行われました。生徒たちが自ら学校生活を振り返り、最初はクラス単位で改善点や要望を出し合いました。それを生徒会で取りまとめて今年度の要望書が出来上がり、この生徒総会の承認を持って正式に提出されました。学校の主役として、しっかりした形で自分たちの要求を伝えようとする姿勢の現れです。また、今年度の各委員会の活動計画の確認や、生徒会費の昨年度決算と今年度予算の承認も行われました。あらかじめ個々のクラスで十分な話し合いが行われ、その要求がしっかりと生徒会によって吸い上げられていたため、その場での意見交換は少なめでしたが、今年度の生徒総会も、きちんとした形で進められていたと思います。



まずは、参加生徒総数の集計から始めます。



生徒会長から活発な議論をとの挨拶です



議長の、苦井君と



生徒会費決算報告、予算案に聞き入ってます。



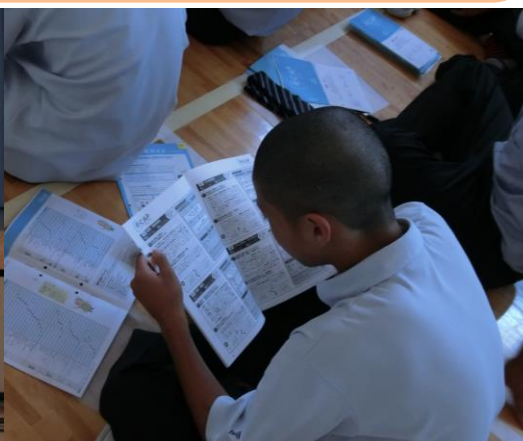
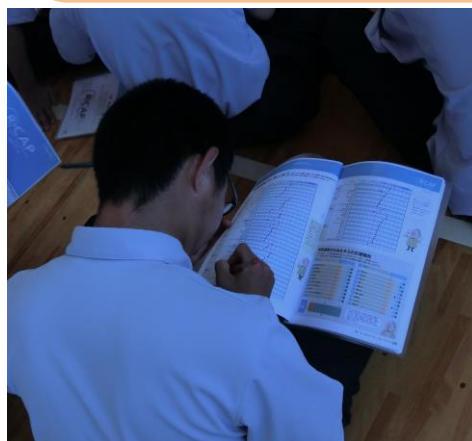
各委員会からの活動計画の説明です。



最後に校長先生の話。十分な検討の約束です。

R-CAP 説明会

1年生が事前に行っていた、リクルートの適正検査であるR-CAPの説明会が実施されました。R-CAPとは、従来型の適性検査とは異なり、自分自身の興味関心がどの学問分野や職業に向かっているのかを調べるためのものであり、決してその分野に向いているかどうかを知るためのものではありません。実際のところ、向き不向きは調べるのが非常に難しいものであり、それに縛られることには意味ないのかもしれない。自分自身の志向がどの方向に向いているのかを、普段意識することは少ないのかもしれませんが、ミスマッチの少ない進路決定には必要なことだと思われます。生徒たちもインストラクターの説明に聞き入り、自分の結果に興味を持って、様々なことに思いを馳せていたようでした。



高校総体の結果と反省

過日行われた第69回山梨県高等学校総合体育大会における本校の結果について、各運動部から反省と今後の課題も含めてご紹介します。(関東大会の結果は、7月発行のPTA広報誌「東海」に掲載予定です。ぜひお読みください)

ソフトボール部 3年3組 神澤 大輔君

私たちソフトボール部は一回戦塩山戦も、敗者復活戦日川との試合も惜しくも一点差負けで、すごく悔しかったです。この悔しさをバネにインターハイでチーム一丸となって全国大会に行けるように頑張ります。

柔道部 3年5組 齊藤 直哉君

山梨県総合体育大会において8連覇を達成することができました。総合体育大会は先鋒から中堅までが軽量級で戦う試合です。いつもと違う緊張感の中で全員が役割を理解して確実にポイントを取ることができたと思います。関東大会はベスト8でしたが全国優勝を目指している私たちにはまだ満足できる結果ではありません。インターハイに向けて更なる努力をし、目標を達成したいです。応援よろしくお願いたします。

サッカー部 3年1組 田中幸大君

私たちサッカー部の総体の結果は8位でした。準々決勝では、日大明誠に1対2で負け順位決定戦でも2敗しました。もっと一体感を持ち、インターハイ予選では戦います。応援ありがとうございます。

テニス部 3年3組 柳澤有輝君

私たちテニス部は、団体戦でベスト8まで昇ることができました。ベスト4の壁は高いため、もう一度基礎から練習を積み重ねていきたいと思っています。

陸上競技部 3年4組 中澤 幹君

やる気・根気・負けん気、日頃の練習の成果が発揮できました。

男子 長谷川翔太・男子ハンマー投げ 4位、西澤大和・走高跳 7位、女子 島田愛花菜・女子ハンマー投げ 3位
男子総体得点 1点・女子総体得点 1点

バドミントン部 3年5組 秋山 諄君

男子は2回戦で甲府商業と、女子は1回戦で市川と対戦し負けてしまいました。今回の総体の悔しさを今後の練習の糧として、来月、6月に行われるインターハイ予選にむけ、自身の技術・能力を高めていきたいです。

剣道部 剣道部一同

今回の総体は、女子団体ベスト8で終わりました。全員の気持ちをつなげて試合に挑むことができず、悔しい結果になってしまいました。インターハイでは気持ちを新たに、一試合一試合を大事にしていきたいです。

女子バレーボール部 3年1組 圓崎南々花さん

先日、行われた県総体では帝京第三高校に負け、三位という結果に終わりました。自分たちの全力が出し切ることができず、とても悔しい思いをしましたが、この悔しさをバネにチーム一丸となり頂点目指して頑張ります。

男子バスケットボール部 3年1組 清水悠仁君

私たちバスケットボール部は、関東大会出場が目標でしたが、結果は5位で目標にはとどきませんでした。次のインターハイ予選では全国大会に出場できるように頑張ります。



ラグビー部 3年2組 田草川恵君

私たちラグビー部は、総合体育大会で2位という悔しい結果で終わりました。しかし、厳しい練習や合宿を乗り越えたため、新人戦よりも良い試合ができたと思います。この悔しさをバネに花園予選では日川に勝ちます。

卓球部 3年4組 所一輝君

今回の総体では、団体戦は惜しくも負けてしまいましたが、個人戦では4回戦まで勝ち上がることができました。これからの練習の中で、さらに技術を磨いていって、次の試合では、さらに上位を目指せるように頑張ります。

アーチェリー部 3年1組 田中康嗣君

今回の総体は初めて男女ともに団体で出場することができました。そして、男子個人、女子団体が関東大会に出場することが決まり、また、2年生の小林さんが個人で優勝することができました。関東大会でも頑張ります。

ボクシング部 3年3組 市村竜義君

私は最後の総体に挑みました。今回は、減量がきつくと、体力があまりない中、試合に出ました。相手は1年生とはいえ、経験者だったので油断はできない所でしたが、無事に勝つことができました。関東でも頑張ります。

男子バレーボール部 3年6組 樋泉星弥君

3年生最後の総体が終わった。一回戦ストレート勝ち。課題だったミスも少なくいい流れで二回戦に挑むことができたが、結果負けました。もっと練習や努力をして、強いチームともいい勝負ができるよう頑張りたいです。

女子バスケットボール部 3年2組 對馬 渚々美さん

総体は城西との試合で 75-32 という結果でした。怪我人が多かったけど一人一人が諦めないで頑張っていました。全体的にシュートがあまり入らなかったのもそこはたくさん練習を積んで確立を上げていきたいです。

教育実習生から・・・

高橋主浩先生



私が在学していたころに比べて生徒の質が上がってきていると感じます。先生方への挨拶や身だしなみなど、当たり前前のを当たり前前に行うことができる生徒がほとんどです。本校のスローガンである「生徒が主役」は、生徒の皆さんの可能性の高さを表しています。私自身も教員を目指して勉強していますが、好きな事だけでなく、興味のあることや時には苦手なことにも挑戦して、自分という人間の可能性をどんどん広げていってほしいなと思います。東海大甲府の生徒であることに自覚と責任を持ち、悔いのないよう精一杯学校生活を楽しんでください。

秋山晃基先生



4年ぶりに母校へ実習生として帰ってきました。先生方はとても元気で温かく迎えてくださり、とても充実した実習期間を過ごしました。生徒たちも初日から積極的に話しかけてくれたので、良い雰囲気です。また違う形で母校へ帰ってこれたらと思います。3週間、ありがとうございました。

～編集後記～

教育実習のことは、数十年たった今でも覚えていることがたくさんあります。一瞬一瞬の情景も一枚の写真のように思い描くこともできます。それだけ貴重な体験であり、受け取ることでできたものも本当に多かった、貴重な経験だったんだろうなと思います。

本校での教員生活も長くなりましたが、数年前に、新しいクラスの担任となって初めての三者懇談のときに、生徒の保護者から「先生は〇〇中学校で教育実習をされましたか？」と急に質問されたことがありました。当時の記憶を互いに遡るうちに、その保護者の顔が、中学生当時の印象にどんどん変化していきました。その保護者は、私が配属されたクラスの生徒で、良く質問に来てくれた生徒でした。へたくそな私の授業からも、何かをつかもうと一生懸命な生徒でした。人の繋がりが・・・、そのきっかけは、どこに落ちているかわかりません。一期一会ではありませんが、やはり日々、誠実に生きることの大切さを思わされた出来事ではありました。

文責：湯口